

本部だより

●第32号



マーシャル方面遺族会

<http://mibfa1926.com>

携帯サイト



- 環礁・本部だより第32号 ●発行日:平成27年8月1日 ●発行人:井上賀雄
- マーシャル方面遺族会本部:〒180-0013 東京都武蔵野市西久保2-21-11
- 電話 & FAX:0422-56-1847 ●振替番号 00160-3-567561



ルオット島 海軍司令部跡

早いもので、遺族会結成から今年で52年目となりました。昭和42年、浮田信家氏・佐竹エス氏のお二人が半年間かけての現地事情調査から始まり、遺族会の念願だった現地慰霊碑の建立・慰霊団の訪問と歴代にわたっての活動を続けてまい

平成27年度の定期総会で新会長に選任された井上賀雄でございます。
当遺族会は黒川前会長はじめ、立派な歴代会長の並々ならぬご尽力、役員及びご関係皆さまのご協力、更には会員の温かいご支援のおかげをもちまして遺族会として世上例を見ない活動を続けることができ、輝かしい成果をおさめて参りました。



井上賀雄会長

新会長ご挨拶

りました。

また会誌「環礁」「本部だより」の発行、ホームページの立ち上げなど、当遺族会は私たちにとつても、大切な心の拠り所になっています。

昨年秋には靖国神社・遊就館において、写真展「マーシャル群島遙かなり」を開催し、好評をいただきました。関係の皆さま大変ご苦労様でした。

戦後70年、会員の高齢化もあって当遺族会の存続が危ぶまれる時期もありましたが、昨秋、会員に遺族会存続についてのアンケートを実施し、多くの方々から遺族会維持存続のご要望をいただきました。

4月の定期総会で新役員が下記の通り決定。その後の役員会でそれぞれ役割分担（慰靈、広報、総務、会計）を決め、副会長3名、常任幹事2名、幹事10名、監事1名が決まりました。

当面は、遺族会の長年に亘る書類、資料などの確認から始め、かなりの時間がかかると思われます。会の運営が一日も早く軌道に乗りますよう、新役員一同、努力いたしますので、引き続き皆様のご

支援ご協力をお願ひいたします。

■平成27年度・新役員(17名)

会長	井上賀雄
副会長	高林芳夫
副会長	山口良二
副会長	米林義昭
常任幹事	川端堅太郎
常任幹事	鈴木千春
幹事	石澤洋子
幹事	岡村勝利
幹事	葛西 勉
幹事	小室洋子
幹事	佐藤知子
幹事	清水雅尚
幹事	中村順子
幹事	星野綾子
幹事	宮城 勇
幹事	吉田正明
監事	内海淑子



前列左より 山口氏、井上会長、高林氏、
中列左より 佐藤氏、米林氏、清水氏、星野氏、
後列左より 内海氏、中村氏、岡村氏、葛西氏
(5月の役員会にて撮影)

平成27年4月5日(日)午前10時

平成27年度 慰靈祭報告

山口良一

慰靈祭参加者(敬称略)

明 堀尾洋平	堀尾晃平	愛媛県 波頭幸
弘 波頭友子	渡部一力	香川県 渡部守
俊哉 渡部幸典	金森越哉	福岡
県 石松順子	平田郁子	沖縄県 宮城
勇 宮城邦子		

今回は受付を済ませた後、参集殿2階の「桜の間」に控え室の用意がありました。予定時間の10分前に、神社側より、当会の「前の団体の慰靈祭が遅れているため、少々開始が遅れる」との連絡がありましたが、ほぼ予定通りの進行となりました。

10時に神社側より、指示があり1階の参集殿へ向かいました。

黒川会長、玉串奉奠者を先頭に、拝殿へ進み、お祓いを受け、いよいよ本殿へ。ちょっと寒い本殿でしたが、供物の奉奠、神官による祝詞奏上、黒川会長の祭文奏上、全員で参拝して慰靈祭は無事終了しました。

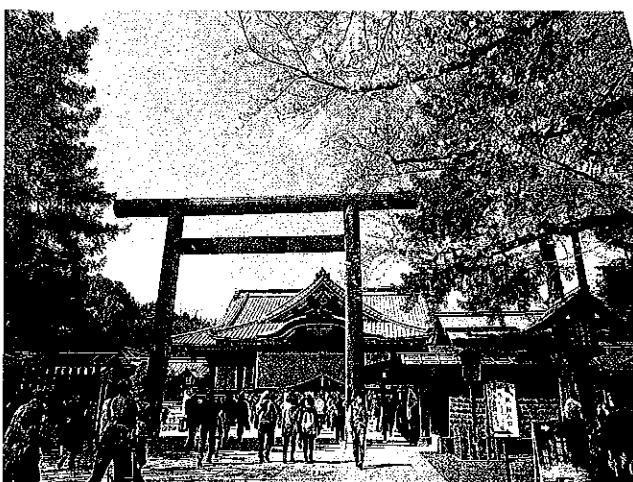
今回の慰靈祭参加者は以下の通りです。

(敬称略)



青森県 須藤明子	山形県 長岡正昭	宮城県 安藤としえ	福島県 酒井則夫
井昭子	福島県 栗木県 岡村勝利	酒井彦亘	新潟県 山田裕史
島正光 千葉県 相川孝夫	富山県 広川端博美 東京都 居戸和由貴	石塚省吾	石塚文子 井上賀雄 井上庸子
黒川 誠 筒 幸恵 鈴木千春 中村順子	米林 義昭 米林美智子 埼玉県 大井和子 小田原 利子 小田原靖 小田原巧磨 小田原 明穂 小野博孝 小野トキ子 葛西 勉	内海淑子	間々田征史 間々田邦子 山口良二 米林 義昭
小松順子 小室洋子 佐藤知子 高林芳夫	西勝章夫 真鍋信一 真鍋公代 神奈川県	中村秀夫 番場信子 福永弥生 星野綾子	小田原 利子 小田原靖 小田原巧磨 小田原
秋山正之 石澤洋子 糸谷友孝 清水雅尚	鈴木 進 鈴木友季子 服部政久 松江正子	明穂 小野博孝 小野トキ子 葛西 勉	高林芳夫
子 安威和子 愛知県 浜田芳枝 浜田道徳	目黒一誠 目黒知子 岐阜県 吉田正		

定期総会



同日 午前11時~11時30分	場所: 靖国神社参集殿 桜の間
-----------------	-----------------

出席役員・黒川会長、高林幹事、

山口幹事、井上幹事、

内海監事

欠席役員・草場幹事、晝間幹事、

岡野幹事

出席会員・約70名

3. 黒川会長より会計報告

詳細は当日の配布資料を参照。

4. 内海監事より会計監査報告

3月18日に会計帳簿等を監査し、適

正に処理されていて、問題ないこと

が報告された。

5. 役員の改選、新会長の選出

議長より3月18日の役員会において

井上幹事を次期会長に推举すること

を決議しており、総会出席の方々に

承認を求めたところ、満場一致で承

認され井上幹事が新会長に就任した。

6. 新会長挨拶及び新役員の選任

井上新会長より、会長就任の挨拶。

その後、下記の通り新役員の指名が

あつた。

1. 開会の辞

司会の井上幹事により開会の挨拶のあと、山口幹事を議長に指名。

2. 山口議長より開会の宣言

黒川会長より挨拶及び会務報告

黒川会長から「今日の総会をもつて、会長を退任する」旨発言があつた。会務報告については、先日発行の本部だよりを参照願いたい旨発言があつた。

7. 国内慰靈行事について

黒川前会長より説明。

8. 現地慰靈について

高林幹事より説明。

9. 議長より閉会が宣言され、定期総会

は終了した。

■ 慰靈祭直会

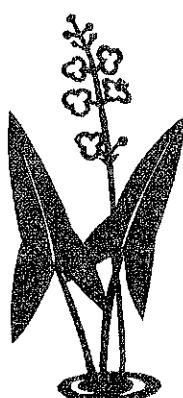
同日 12時～14時半

場所・靖国会館2階

総会終了後、参集殿から移動して正午頃より高林幹事の司会で開会しました。

参加者は年々少くなり、ちょっとさびしい直会でしたが、その分、皆さん親密な感じで歓談できたように思えます。

自己紹介を兼ねて参加者より一言ずつ、お話をいただき、午後2時過ぎにお開きとなりました。





星野氏、高林氏、内海氏が参列しました

千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝式

高林芳夫

晴天の平成27年5月25日、秋篠宮同妃
両殿下のご臨席を仰ぎ、12時30分に開式
されました。

使、衆議院厚生労働委員長、参議院厚生労働委員長、外務大臣、環境大臣、防衛大臣、各政党代表、各関係団体代表、厚生労働大臣が花を献じました。

関係国駐日大使の中にはマーシャル諸島共和国のアネット・ノート公使が献花さ
れました。

今回の式典では、政府が派遣した戦没者遺骨収集帰還団等がビスマーチ・ソロモン諸島、ロシニア等で収容した戦没者の御遺骨のうち、御遺族に引き渡す事ができない三千四百九十八柱が同墓苑に納骨されました。

*マーシャル方面遺族会主催
現地慰靈

現地慰靈のご案内



実施時期 平成28年1月中旬
慰靈訪問する島

クエゼリン・ルオット両島
アンケート時に、参加表明された方に、
詳細が決まり次第、ご連絡いたします。

・皇宮警察音楽隊・演奏曲
指揮者 渡辺浩二
曲 目 松本秀喜作曲

曲
目

指揮者 渡辺浩二

松本秀喜作曲 憲靈の曲
安西愛子作曲 悲しみ越えて

斎藤高順作曲 慰安する

090-3337-4531

訃報

池田淑子さん

鶴沼久義さん

書間志津子さん

松木孝子さん

柳村摩耶子さん

山形雅俊さん

吉田 紗さん

謹んでご冥福をお祈りいたします。

靈砂について

次の各島の靈砂がございます。残量はわずかです。

8月15日までに、事務局・高林（090-3337-4531）までお申込みいただいだ方に、少量ずつですが、お分けいたします。

集合は成田空港近くのホテルで参加者は12名でしたが、全国からの参加の為、出発前日の結団式となりました。翌8日に成田発グアムにて一泊、9日に島伝いに寄港しながら夕刻クエゼリンに到着しました。

到着すると雨風まじりの天候でしたが、旅行期間中同じような天候に悩まされました。12月～2月にかけては雨が一滴も降らなかつたとのことでした。あとで知りましたが、駐マーシャル諸島大使・同夫人、米軍関係者が出迎えてくれました。

クエゼリンは全島米軍基地のため、米軍のゲストハウスでの宿泊となり、夕食は米軍の食堂でバイキング形式の食事をした。

平成26年度政府派遣
マーシャル諸島慰靈巡拝報告
清水雅尚

後日マジュロの食事と比べると豪華と言つて良い内容でした。特にフルーツのうまさは日本でも食べられないものでした。

翌10日はチャーター機でクエゼリン環礁の北島ともいえるルオット島（旧ロイ・ナムル島）へ。この島も全島米軍基地です

が、感心したのは戦場跡地が多く保存されていることで往事の状況を忍ぶことができました。同島では雨風まじりの中、丁寧な慰靈式を行いました。ヤシの並木、サンゴの細かい破片でできた海岸の美しさは心に沁みるものでした。

11日はクエゼリン島の島内をめぐり慰靈式を行いました。クエゼリン島では戦跡のほとんどが整理されており、トーチカが一ヵ所だけ残つていましたが、米軍が最初に上陸した場所は軍用機器が大量に赤茶けたまま放置されていました。この地点では日本軍は米軍を押し戻したのですが、どうしてこんな狭隘な場所を上陸地点に選んだのか不思議な思いもしました。

空港南端にある慰靈碑の立つ日本人墓地で、基地司令官のサドラー大佐も同席され慰靈祭を行いました。この区域はよ

- ①クエゼリン ②ウォッゼ ③マロエラップ ④タラワ ⑤ヤルート ⑥マキン ⑦ブラウン ⑧ナウル ⑨トラック ⑩オーシャン ⑪メリレン ⑫リキップ ⑬ウジアイ ⑭メジチ ⑮サイパン ⑯ウートロック ⑰クライ ⑱テニア ⑲ボナペ ⑳ロンゲラップ ㉑アイルック

く整地されていて有難く感謝したいと思います。伝え聞いてはいましたが碑の材料は日本から持ち込み、特に前面にある日本列島の都道府県の位置には、それぞれの地方の石が貼り付けられているのを実際に見て感概を催しました。建立時に植えられた両脇の人の背丈ほどの木も大きくなり、見上げるまでになつております。

帰国後知ったのですが、慰靈碑のある一画には戦没者の遺骨が大量に埋められていたとのこと。出来れば早く日本に帰してやりたいとの思いが募りました。政府も動き始めているようなので、ぜひ実現させたいと思います。

旅の後半（マジュロ以後）は次回に記載させていただきます。



クエゼリン島の慰靈碑

編集部からのお知らせ

「軍歴証明書」について

軍歴証明書（通称・兵籍簿）とは、軍隊に入隊後、どの部隊に所属し、どの戦地に行つたか等の記録が書かれたものです。

＊入手方法

陸軍と海軍で、入手方法が異なります。

左記に連絡して、必要な書類（本人確認書類や戸籍など）を揃え、申請をしてください。

・海軍…厚生労働省 社会・援護局

調査資料室

03・3595・2465（直通）

・陸軍…各都道府県庁（戦没者の出生地、

終戦当時に本籍があつた都道府県）

*県により、社会援護課または福祉課であつたり、名称が異なるため「軍人恩給を取り扱う課」と言って内線を回してもらつてください。申請してから、数か月で軍歴証明書の写しが送られます。ただし、部隊によつては、入手できない場合もあります。

靖國偕行文庫室

TEL 03・3261・8041

●「靖國偕行文庫」のご紹介

お宅に眠っている軍事関係図書（戦史、戦記、戦友会会報、資料等）があり、ご不要の場合、靖國偕行文庫には是非「ご奉納」ください。戦争経験者、証言者が減少する中、貴重な「資料」が処分され、なくなつてしまわぬよう、後世の研究者のためにもご寄贈をご検討ください。

靖国会館一階にある靖國偕行文庫は、英霊の戦歿された当時の調査資料を整備し、その御遺徳を顕彰するとともに、後世の研究に資することを目的とした図書館です。靖國偕行文庫には、約13万冊の図書資料が収蔵、その主体は戦史・戦記・部隊史・教程・教範類・英霊の追悼録・回想録、等「日本近代軍事史の専門図書館」です。

●軍事関係図書のご奉納は常時、受け付けております。（郵送にてご奉納される場合は、予め職員にご相談下さい。）

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 每週月・木曜日（祝祭日にあたる場合は翌日が休館）年末の3～4日間

お問い合わせ先 事務局・高林 048-223-6110 携帯090-3337-4531 メールアドレス takabayashi.yoshio@khaki.plala.or.jp